

令和6年度第2回総合型地域スポーツクラブ専門委員会及び
令和7年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録審査会 議事要旨

日時 令和7年2月4日（火）午後2時から午後3時

場所 ホテル熊本テルサ 中会議室C

出席者 本田幸範、木村和弘、立木宏樹、津留知子、松田直浩、西田由美（委員6人）
西村浩二、野島弘宣、太田黒尚子（事務局3人）

<会議内容>

1 開 会

2 あいさつ（本田委員長）

3 議長選出（本田委員長）

4 報告

（1）令和6年度プロモーション事業について

- ・太田黒から説明及びプロモーション動画の上映。

―意見聴取―

- ・立木：動画の再生数等数字の調査をしていく必要がある。
アクセスしている年代層など分かるのではないか。
- ・野島：2月7日に熊日広告社からの報告会議を設けている。そこで数字を検証し、事業が効果的であったのか確認して報告する。

5 議事

（1）令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について

- ・太田黒から説明。

―意見聴取―

- ・松田：黒髪校区設立準備委員会は、準備の状況からすると設立検討団体ではないか。
- ・太田黒：検討段階レベルに引き下げる。

6 審査会

（1）令和7年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録について

- ・野島から県内の令和7年度全国協議会登録申請状況について説明。
- ・新規登録クラブである西原村総合型クラブカラスポについては、申請書を説明し、委員で精査。
- ・更新36クラブ、新規1クラブの申請クラブ全てを承認手続きすることで合意。

7 その他

津留：2月10日の中学校部活動の地域移行に関するシンポジウムに関する情報提供。

松田：熊本市は中央区の地域力が薄いと感じており、クラブの運営委員も高齢化が課題。

龍田は事務局が変わってからうまくいっていないようだ。帯山は中心地過ぎて地域の力がないと感じる。御幸は会長が病気となってから事務局も機能していない。田迎、画図人も事務局が弱く、行き詰っている。地域の人が運営するとなると人材不足が否めない。

立木：学園大のスポーツ振興センターは今のところ学内のこと中心だが、大津町とはモデル的に動いている。地域連携も実施しており、学園大も中央区であるが、総合型クラブとの連携は難しさを感じている部分もある。県内は広いので学生を派遣するにも工夫が必要。

西田：総合型クラブ部会では、登録についてメリットの話に及んだが、目に見えるものはないものの指定管理の時期更新の際の説明責任が生じるが、そこで登録・認証を受けているとなると心強いという意見があった。

8 閉会

